

令和7年度 信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会  
令和7年度 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会  
令和7年度 新川等二級河川周辺地域における流域治水協議会

## 議事概要

開催日時：令和8年3月25日（水）14：00～15：30

会議方法：WEB 会議

まえがき

令和7年度 信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会、令和7年度 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会、令和7年度 新川等二級河川周辺地域における流域治水協議会は、Web 会議システムにより同時開催しました。

本会議で協議する内容について、事務局からの説明及び各構成機関からの意見等は以下のとおりです。

### 議事1. 次期「信濃川下流域の減災に係る取組方針」の更新について

#### 【議事内容】

事務局（信濃川下流河川事務所）より、次期「信濃川下流域の減災に係る取組方針」の更新について説明を行いました。今年度が現行5か年計画の最終年度であり、次期5か年計画（R8～R12）へ更新するタイミングとなるため、昨今の気候変動の影響にともなう洪水被害の激甚化、頻発化への対応を協議会の目標として明確に位置付ける形で更新案を作成したことを説明しました。

また、その他の主な更新内容として、新たな防災気象情報の運用に伴う取組、内水氾濫も考慮した水害リスクマップ・多段階浸水想定図の整備、水防活動時の水防団と河川管理者の情報共有を高度化する流域デジタル水防システムの整備等を追記し、各関係機関の取組において時点更新が必要な箇所についても反映しており、更新箇所は赤字で示していることを説明しました。

#### 【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

### 議事2. 「信濃川下流流域治水プロジェクト2.0」の更新について

#### 【議事内容】

事務局（信濃川下流河川事務所）より、気候変動を踏まえた「信濃川水系流域治水プロジェクト2.0【信濃川下流部】」について、昨年度からの更新箇所（流域デジタル水防システムの追加）を説明しました。また、グリーンインフラの取組の更新についても

説明を行い、信濃川下流域においては今年度の取組内容に更新がないこと、グリーンインフラの資料は水系単位の取組であるため、今後は上・中・下流域の各協議会でそれぞれ更新し、流域全体版をとりまとめることを説明しました。

**【意見・質問】**

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

**議事3. 「新川等二級河川周辺地域流域治水プロジェクト」の更新について**

**【議事内容】**

事務局（新潟県土木部河川管理課）より、「新川等二級河川周辺地域流域治水プロジェクト」における取組内容やロードマップについて説明しました。

なお、「新川等二級河川周辺地域流域治水プロジェクト」の更新はありませんでした。

**【意見・質問】**

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

**議事4. 令和7年度取組状況フォローアップについて**

**【議事内容】**

事務局（信濃川下流河川事務所）より、3つの協議会における取組を踏まえた「取組状況フォローアップ様式」の概要について説明しました。また、今回新たに流域治水プロジェクト2.0と同じ体裁で整理した流域治水におけるグリーンインフラの「取組状況フォローアップ様式」の概要について説明しました。

そのうえで、令和7年度の各機関の取組状況を共有しました。

**【意見・質問】**

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

**議事5. 「流域治水の自分事化に向けた取組の推進」に関する令和7年度フォローアップ、令和8年度計画について**

**【議事内容】**

事務局（信濃川下流河川事務所）より、住民や企業に水災害を自分事として捉えてもらうための施策を体系的に整理し、展開していくことを目指していく、流域治水の自分事化に向けた取組の推進について説明しました。

「流域治水の自分事化に向けた取組の推進」に関する令和7年度計画については前回本会議で提示した令和7年度計画について、各機関からの提示内容の未反映があったため、今回すべて網羅する形で修正し、修正箇所は黄色で示したことを説明しました。

「流域治水の自分事化に向けた取組の推進」に関する令和7年度フォローアップについては、各機関の取組実績のとりまとめ内容について説明しました。また、実績を

踏まえた更新箇所を黄色で示したことを説明しました。「「流域治水の自分事化に向けた取組の推進」に関する令和8年度計画（案）」については、各機関の来年度計画を踏まえ更新した取組内容やロードマップについて説明しました。また、令和7年度フォローアップから更新した箇所を黄色で示したことを説明しました。

**【意見・質問】**

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

**議事6. 流域治水プロジェクトに基づく対策の事例について（各機関）**

**【議事内容】**

各機関より、以下のとおり事例の紹介がありました。

（新潟市）

被害情報の収集体制の強化について紹介。

（長岡市）

近隣市や民間企業との協定締結による広域避難先の確保、「わが家の防災タイムライン」の作成・活用支援について紹介。

（三条市）

トレイルカメラの活用について紹介。

（加茂市）

総合防災訓練・防災フェアの実施について紹介。

（見附市）

全市一斉総合防災訓練の充実、災害時相互応援協定締結による災害の備えを強化について紹介。

（燕市）

燕市防災リーダー研修会、防災キャラバンについて紹介。

（五泉市）

情報伝達等に関する取組及び地域住民や学校などへの周知・教育・訓練に関する取組みについて紹介。

（弥彦村）

防災教育や防災知識の普及に関する取組および新たに締結した災害協定について紹介。

(田上町)

住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実について紹介。

(新潟県防災局)

新潟県防災リーダーの養成、避難行動要支援者の個別避難計画の策定について紹介。

(新潟県農林水産部)

新潟県内の信濃川流域における治山対策・森林整備の取組について紹介。

(新潟県農地部)

田んぼダムの整備・活用、排水機場等の整備、増設、適正な維持管理について紹介。

(新潟県土木部)

洪水を河川内で安全に流す対策、砂防関係施設の整備、水害リスク情報の空白域解消（浸水想定区域）、住民への情報伝達手段の強化について紹介。

(北陸農政局)

排水機場等の整備、増設、適正な維持管理について紹介。

(中越森林管理署)

信濃川下流域上流部における森林整備・治山対策・保安林の管理について紹介。

(森林整備センター)

水源林造成事業による森林の整備・保全について紹介。

(新潟地方气象台)

新しい防災気象情報（R8 出水期から運用開始予定）について紹介。

(信濃川下流河川事務所)

水害リスク情報の充実（水害リスクマップの整備）、流域デジタル水防システムの概要について紹介。

## 【意見・質問】

説明内容について見附市、信濃川下流河川事務所から意見がありました。

### ●意見 1（見附市）

従来の水防活動では情報集約に時間を要していたため、リアルタイムの画像や位置情報の共有が可能となる流域デジタル水防システムに期待している。消防団が使い慣れた LINE を通じて災害対策本部と情報共有可能となることで、迅速な避難指示や水防資機材の適正配置等、的確な意思決定のスピード向上につながることに期待している。

見附市・燕市がモデル事業の代表市町村として参加するこのシステムは、将来的に流域全体での本格運用を見据えているものであり、LINE から送った位置情報・現場写真が Google マップ上で可視化され、行政区域を越えて上流（見附市）から下流（燕市）まで流域状況を一元把握できる全国初の画期的な取組である。

上流の異変を早期に下流へ共有することにより下流域の備えへとつなげる「情報のバトン」、「広域の情報一元管理体制の構築」について、信濃川下流河川事務所・河川情報センターの支援を得ながら、関係機関と連携し先導的に推進していきたい。

### ●意見 2（信濃川下流河川事務所）

見附市・燕市の協力のもと、先行的に流域デジタル水防システムの取組を進める。最終目標は、信濃川下流域全体で展開することと、成功事例として全国へ展開していくことである。

来年度の見附市・燕市の取組を試験的・先導的な位置づけとし、次の展開につながるよう国として最大限支援する。

— 了 —